

全日本柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールの運用について

当連盟主催大会において、下記の要領で柔道衣コントロールを実施する。
試合者の体格に適さない柔道衣を着用していることが発覚した場合には失格とする。

1. ゼッケンと一致する名前の ID カードを持っているか確認。
2. 広告ゼッケンを確認。
※女子選手のみコマツ社の広告ゼッケンを縫い付ける。
3. 柔道衣認証ラベルの確認
IJF ロゴ（赤）又は「JU0000」の赤文字ラベルのみ使用可
帯は IJF ロゴ赤・青、「JU0000」の赤・黒のラベルが使用可
※認証ラベルの剥がれた柔道衣や帯の着用は認めない。
4. 結び目から末端までの帯の長さの確認（20～30 センチ）
5. 袖の長さを確認。柔道衣コントロール時の適切な姿勢で手首を含む腕全体をカバーしていること。
6. 胸骨の上部頂点から襟の交差部までの垂直直線距離が 10 センチ以下であること。
7. 袖の幅、襟の厚み、幅、ズボンの長さを確認。大きさ等に満たないと判断した場合、柔道衣測定器を使用する。
8. 上衣の着丈を確認（臀部が隠れる程度）。

1. IJF 公認マーク・全柔連認証ラベルの確認

【上衣・下穿】

① IJF 公認マーク

IJF ラベルの外枠が赤色であれば可、青色は不可

↓ IJF ラベルが付いていない場合

② 全柔連認証ラベル

認証番号が赤字で印字されていれば可、黒字は不可

【帯】

IJF 公認マーク…、赤どちらでも可

全柔連認証ラベル…赤字、黒字どちらでも可

別紙「新規格柔道衣の適用ラベルについて」参照

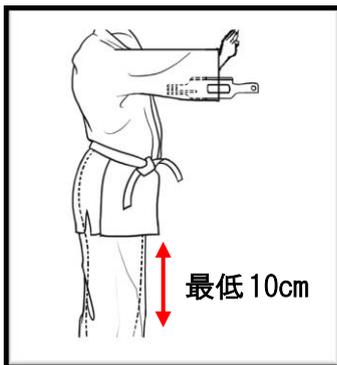
2. 柔道衣マーキングの確認

「柔道衣の氏名等の表示」に適合したマーキングか否か確認する

3. 柔道衣の大きさ確認

測定器を用いて以下の規格に適合しているか確認する。

上衣



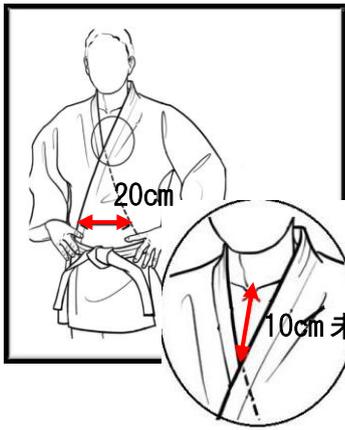
上衣は、完全に臀部を覆っていないなければならない。

ただし、膝から最低でも 10 cm の距離があること。

袖の長さ（コントロールの際、腕は真っ直ぐ伸ばして拳を握る）：

-測定器全体がスムーズに袖の中にすべり入らなければならない。

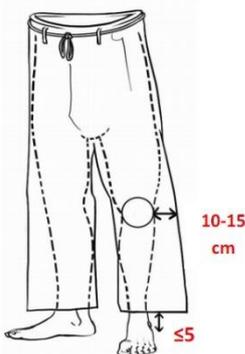
-腕を上げ、柔道衣コントロールの姿勢になった時に、上衣の袖は手首を含めた腕全体を覆わなくてはならない。



- 上位を前で重ねた際、2つの下襟の距離は水平に少なくとも20cm必要である。
- 襟の厚さは1cmかそれ以下であること。
- 襟の幅は4cmであること。
- 胸骨の一番上から、上衣の重なり合っている所の距離は垂直で10cm未満でなくてはならない。

下穿

12



- 下穿の裾口からくるぶしの外側（足首）までの距離は5cmかそれ以下であること。
- 下穿の幅は、**膝の位置**で、10cm～15cmであること。

帯

- 帯の厚さは4mm～5mmであること。
- 中央の結び目から帯の端までの長さは、20cm～30cmであること。
- 帯は正しく、且つきつく結ばなければならない。
- 帯は、硬く滑りやすい素材であってはならない。

Tシャツ（女性用）

- 色は白、半そで、丸首
- 製造業者マークは、最大20cm²のサイズ[※]であれば認められる。
柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
- ※所属を表すエンブレムを左胸に付けることは認められる。大きさは最大100cm²とする。
- いかなる商業的なマーケティング[※]もつけてはならない。

4. 認証柔道衣でなかった or 規格が適合しなかった場合

出場することはできない

※リターン柔道衣の貸与条件

- ①柔道衣に血痕が付いている場合
- ②柔道衣が破れた場合

新規格柔道衣の適用ラベルについて

